

平成30年度 第3回 青森市廃棄物減量等推進審議会 会議概要

(通称：住みよいクリーンな青森市を考える審議会)

日 時：平成31年3月19日(火) 午後1時20分～午後2時10分

場 所：青森市役所柳川庁舎 1階 会議室

出席委員：加川委員(会長)、西田委員(副会長)、一戸委員、伊藤委員、今井委員、
上村委員、竹中委員、松山委員(8名全員出席) ※副会長以下、五十音順

事務局：環境部 八戸部長、柿崎次長
廃棄物対策課 竹内課長
清掃管理課 若佐谷課長、泉副参事、蠣崎主幹、松原主査、鎌田主査、
成田主事
青森市清掃工場 千葉場長
浪岡事務所市民課 石村課長(11名)

会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 案件
(1) 青森市災害廃棄物処理計画(案)について
4. その他
5. 閉会

【会議要旨】

- ・案件（１）青森市災害廃棄物処理計画（案）について、事務局から説明。

（一戸委員）

- ・仮置場の候補の一つに雪捨場を選定しているが、冬に災害が発生した場合、仮置場として使用できるのか。

（事務局）

- ・冬に災害が発生した場合の仮置場の選定については、今後、検討していく必要があるものとする。

また、青森市地域防災計画、環境省の指針などの改正に合わせて随時見直しを図ってきたい。

（今井委員）

- ・仮置場候補地の選定一覧について、数多くの施設があるのに対して、仮置場として選定した施設数が少ないのはなぜか。
- ・仮置場として選定しなかった施設については、全く使用することができないのか、それともまだ確認が取れていないのか。

（事務局）

- ・仮置場の候補地として選定しなかった施設については、避難所に指定されていたり、学校や病院等が近隣にあることから借置場の候補地から除外している。

また、未使用の市有地については、担当課と協議した上で候補地に追加したい。

（松山委員）

- ・雪捨場を仮置場の候補地に選定しているが、冬期間は雪捨場として利用されることから、災害廃棄物の仮置場として使用できなくなることが想定される。

（事務局）

- ・冬期間を想定した仮置場の選定について、未使用の市有地を調査した上で候補地に加えていきたい。

（加川会長）

- ・冬期間の仮置場の選定については、難しい部分があるものとするが、この他具体的なご意見はありますか。

(松山委員)

・東日本大震災における仮設トイレの調達について、まず真っ先に新潟県から宮城県に支援があったようだが、何か協力協定等を締結していたのか。

(事務局)

・協力協定等の締結の有無については、本日資料を用意していないため詳細についてはお答えできないが、震災時、太平洋側の縦のラインにあたる岩手県、宮城県、福島県において、大規模な被害があり混乱を極めたものと認識しているが、隣接県である新潟県からの横の連携により支援があったものと思われる。

(竹中委員)

・青森県内各市町村で備蓄している仮設トイレの数はどの位あるのか。

(事務局)

・平成30年3月の「青森県災害備蓄指針」によると、平成29年4月1日時点での携帯トイレの備蓄数としては、20,100個となっている。

(西田委員)

・災害発生時に仮設トイレを設置した場合、し尿の収集運搬が必要となるが、無償協定とした場合、収集運搬事業者の負担等も考えられることから、有償協定とした方が事業者としては安心できると感じた。

(加川会長)

・実際に災害が発生しなければ分からないこともあるが、万が一に備えることが重要であり、何か気付いた点があれば、事務局に伝えてほしい。

(上村委員)

・計画策定の予定時期はいつ頃になるのか。

(事務局)

・委員の皆様からいただいた意見を踏まえて、今年(2019年)4月中に策定予定である。

(加川会長)

この他ご意見等がないようですので、本日のご意見等を計画(案)に反映することについては、事務局一任とし、案件(1)の青森市災害廃棄物処理計画(案)については、承認を得たものとしてよろしいですか。

「異議なしの声あり」

それでは、案件(1)については、承認を得たものと決めます。

以上